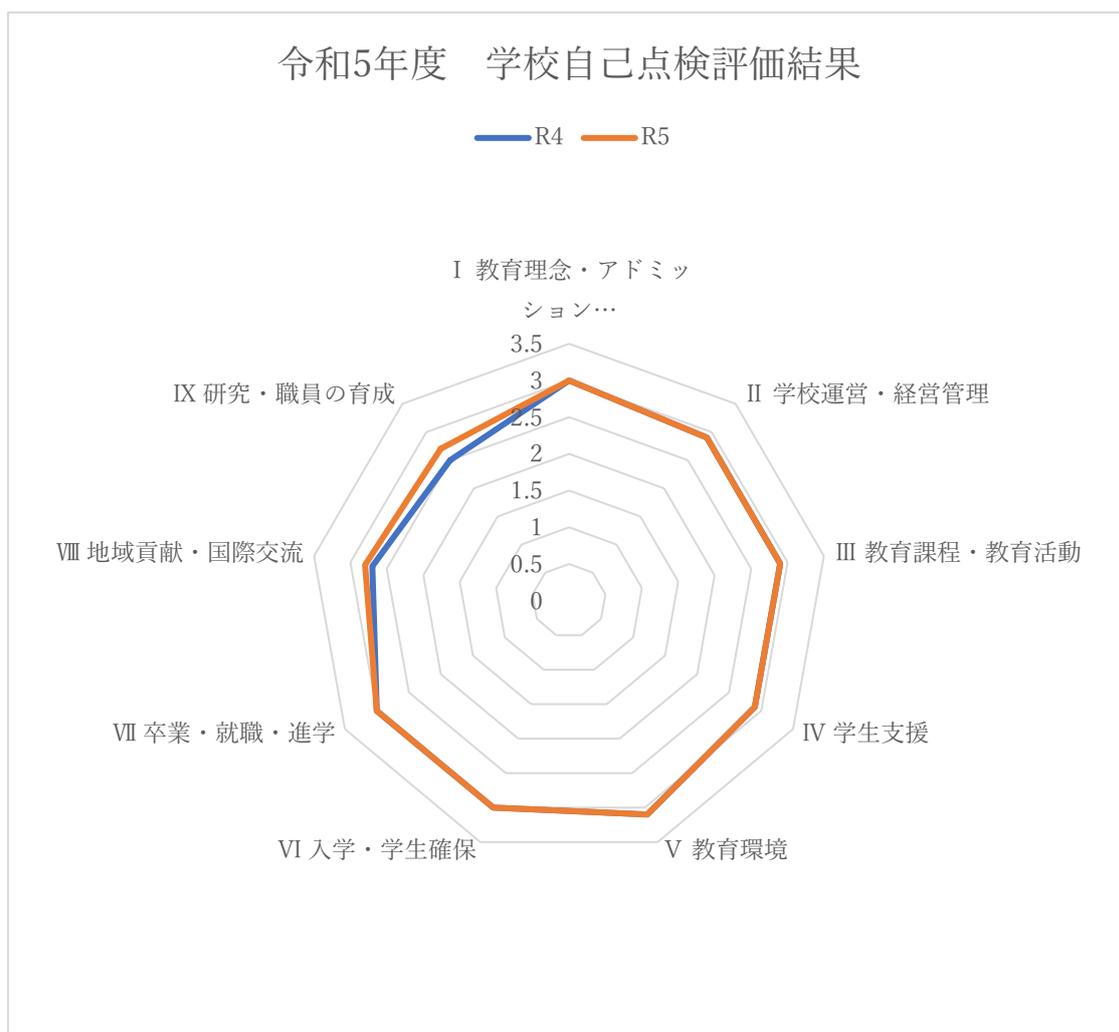


令和5年度 自己点検・評価

「看護師養成所の自己点検・自己評価指針」を基に検討した内容で学校の自己点検・自己評価を行い学校運営の改善に努めております。自己評価結果は以下の通りです。

評価のカテゴリーを9領域、50評価項目とし、4段階評価（4：よく当てはまる 3：大体当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：全く当てはまらない）にて教職員による自己評価を実施しました。

- I. 教育理念・アドミッションポリシー・ディプロマポリシー（3項目）
- II. 学校運営・経営管理（11項目）
- III. 教育課程・教育活動（12項目）
- IV. 学生支援（5項目）
- V. 教育環境（4項目）
- VI. 入学・学生確保（5項目）
- VII. 卒業・就職・進学（3項目）
- VIII. 地域貢献・国際交流（2項目）
- IX. 研究・職員の育成（5項目）



評価項目	結果	実施内容および課題
I. 教育理念・アドミッションポリシー ディプロマポリシーに関する事項	3.0	教育理念は設置主体が神戸市民間病院協会であることを基盤とした内容であり、合わせてアドミッションポリシー・ディプロマポリシーを学習の指針となるように明示しています。年度初めにはその内容を学生・教職員に周知していくようにしています。今後さらに、その内容が学生や教職員にとって教育の指針となり、浸透・実践できるようにしていきたいと考えています。
II. 学校運営・経営管理に関する事項	2.9	年度初めに提示する学校運営方針に学校運営に関する事項を明記し、口頭での説明を実施、年度末には運営等に関しての評価を行い文書にて提示し、周知できるよう取り組みました。学校の経営に関する収支内容も説明を行い、職員が学校経営の概要や学校運営方針に関して共通理解しそれぞれが目標を持ち学校運営に取り組んでいけるようにしています。
III. 教育課程・教育活動に関する事項	2.9	カリキュラムに関しては、授業担当教員と相談の上、単元構成・授業内容を評価・検討し、必要に応じ変更して学生が内容理解しやすいようにしました。授業はほぼ対面授業を行い、実習に関しては学生への感染対策指導、健康管理指導を十分に行いながらコロナウイルス感染症の感染状況に合わせて施設との調整を行い、ほぼ臨地での実習を実施することができました。臨地での実習ができたことは学生にとっても満足度が高かったようです。国家試験に向けては合格率100%を目指していましたがあまり良い結果が出せず国家試験対策の内容等の課題に対し戦略を立て次年度取り組んでいく予定です。
IV. 学生支援に関する事項	2.9	ピアサポート体制（学年縦割りグループ）による学生支援やキャリア室との協力による学生支援や ICT により学生の相談に応じるなど支援を行いました。学生の学習状況や心身の健康状態などの状況に合わせ適宜保護者へ連絡し、協力・連携を図り支援していきました。今後も状況に合わせ保護者との連携を図っていく必要があると感じています。 学生の課題に対応しながら3年間で卒業ができるよ

		う効果的な学習支援や精神的支援など様々の事に取り組んでいきます。
V. 教育環境に関する事項	3.1	教育環境としての施設・設備・教材の整備を年次ごとの計画を立て実施しています。実習室のボイラーの交換、古いベッドの交換、古くなった教材の交換、各教室窓のスクリーンの交換など必要に応じ適宜整備を実施して学習環境を整えています。順次実施した全教室の天井吊り下げ型プロジェクター設置については終了し、実習室についても今後設置していく予定にしています。今後も施設・設備・教材に関して教育環境の整備を計画的に行いより学生の学習環境を良くしていくように努めます。
VI. 入学・学生確保に関する事項	3	随時行っていた学校見学会の日程を決めて5月と6月の土曜日に実施し、その後学校見学の希望者に合わせ11月の推薦入試・社会人入試まで随時学校案内を行い学生確保に努めました。また、看護協会の進学説明会や高校での進学説明会などに参加、ホームページに活用し学校の行事や授業風景など随時写真とともに情報を発信するなど広報活動を行いました。18歳人口の減少に伴い今後、学生確保に関しては大きな課題となります。本校の特徴としている取組みなど伝え、多くの人に本校で学びたいと思ってもらえるよう今後も積極的に広報活動を行い、学校見学会の回数を増やすなど計画していく予定です。広報に関しては社会人経験者に向けた発信を行っていきたいと考えています。
VII. 卒業・就職・進学に関する事項	3	キャリア支援室を中心として就職への支援、進学の相談を行っています。民間病院への就職率を高めるため、病院の採用試験に関する情報やインターシップに関する情報などの発信をオンラインを活用して行っています。就職試験に関しては面接の練習・論文の書き方やエントリーシートの書き方指導なども行っています。兵庫県内民間病院への就職率は90%以上、神戸市民間病院への就職者率は70%以上でした。今後も教育理念に基づき民間病院の及び神戸市会員病院への就職率の向上を目指し支援継続していきます。

VIII. 地域貢献・国際交流に関する事項	2.8 (2.7)	<p>地域社会への貢献に関しては地域の方々が参加できるよう学校祭の「あじさい祭」を計画していましたが、校舎が狭いため人口密度の高まりによるコロナ感染を危惧し実施しませんでした。次年度は感染状況を見ながら地域活動に貢献できることを考え計画的に取り組んでいきます。</p> <p>国際的視野を広げる授業に関しては、海外派遣の経験がある講師に授業を依頼したことで視野が広がったと考えます。今後も継続できるよう計画していきます。新カリの授業が開講となり実施されたことでの評点の結果だと考えます。</p>
IX. 研究・職員の育成に関する事項	2.7 (2.5)	<p>授業や実習が優先され学会等への参加が十分でなかったが教育力向上のためにも今後できるだけ参加し教育に反映させ、教育力の向上を目指します。</p> <p>職員研修として 8 月にハラスメントに関する内容の研修を行い、ハラスメントについて正しく理解するとともに意識付けができたと考えます。今後も職員研修会を計画的に行い知識を高めるとともに知見を広げ教育活動に活かせるようにしていきたいと考えています。コロナ禍以降研修や学会への参加ができるようになったため評点が昨年より高い結果となったと考えます。</p>

評点の（ ）は昨年の点数を示す